

令和6年度 学校評価報告書

園名 三田市立 志手原幼稚園

1 教育目標

- ・笑顔いっぱい伸び伸びと遊ぶ子
- ・思いやりを発揮できる子
- ・自分で考え、行動できる子

2 重点目標

『楽しそう どんどんやってみよう そして考えよう』
 ～一人一人が安心して自己発揮し、主体的に活動する充実感を味わうための環境構成と援助のあり方を探る～
 4歳児：園生活を楽しみながら、集団での生活に必要な習慣や態度を身に付ける。
 5歳児：一人一人が自己発揮し、主体的に遊びや生活を進めていく楽しさを味わう。

3 自己評価結果

分野領域	評価項目	幼稚園の取組状況・改善の方策	4 学校関係者評価
教育課程	幼児が自ら考え、手段を選び、目的をもって遊び込むための援助や環境構成を工夫し、実践につなげていく。	幼児が主体的に生活していけるよう、見守り、寄り添い、向き合う保育を進めてきた。一人一人が自信をもって、自分のやりたいことに打ち込む姿が見られるようになってきている。引き続き、自分の力を信じて生活していけるように援助していきたい。	・行事の中で、子ども達が楽しんでる姿を見ることができた。子どもたち同士で支え合い、相談し合い進めてきている様子が窺えた。クラスづくりの中で先生方が意図をもって取り組んでいるのがよく分かった。 ・現在、人と会話しなくても、過ごせてしまう状況がある中、友達を感じ、友達と対話しながら過ごせる幼稚園生活を大切にしてほしい。 すぐに手助けしてしまうのではなく、自分たちで考え、自分たちで進める生活の土台ができてきているのは素晴らしい。 ・アンケートで園に対しての感謝の言葉が多いのは、親とのコミュニケーションがとれているからだと感じる。親子、先生と一緒に子どもたちの育ちを見守っている様子が窺える。
	一人一人の育ちや課題、集団としての育ちや課題を共通理解し、職員みんなで解決に向け取り組んでいく。	日々の園児の姿を見取りながら、保護者や関係各所と連携し、課題解決に向けて取り組んでいる。この丁寧な姿勢を大切にしていきたい。	
	他園や地域、小学校と連携しあって、力を借りながら保育を進めていく。	3園交流を計画実施し、幼児同士は安心して関わられるようになってきている。互惠性のある交流になるよう事前事後の話し合いが必要である。	
	東北部の園職員で研修し合い、幼児同士が安心して交流を深める、学び合えるような環境構成、援助の方法を探っていく。	園内園外の研修を通し、より様々な角度で幼児を捉えることができた。高平志手原小野全職員で幼児を見取り、援助していく体制ができてきている。	
子育て支援	小野や志手原地域、隣接する地域や市内の親子が交流できる場を工夫する。	各地域に発信(チラシ配布、ホームページ掲載等)してきたが、在園児の姉弟以外に参加する人は少なかった。発信方法の工夫をしていきたい。	・子どもの数は減ってきているが、幼稚園を介して親子がふれあったり、心配事を相談し合ったりしながら、安心して過ごせることが素晴らしい。 ・子育て世帯の人数が減っているからこその悩みもあると思う。幼稚園主催の子育て支援をこれからも続けてほしい。
	子育て不安を解消し、親子ともども元気に過ごせるようなネットワークづくりを推進していく。	子育てについて、また就園、就学についての思いなどを聴き取りながら、保護者と一緒に考えるようにしてきた。前向きに明るく子どもと向き合えるよう、職員も明るく話しかけてきた。	
保護者・地域住民・学校との連携	園の取り組みや幼児の育ちについて情報発信を工夫する。	園の活動について興味をもっていただくこと、地域にも園だよりを配布させていただいた。読んでくださった方から少し感想をいただけることもあった。	・園だよりを気にかけて読むようになってきた。園のことを気にする人が少し増えたように思う。 ・高齢者交流会では、子ども達の歌声が高齢者や地域の皆さんに多くの元気を与えてくれた。 ・年度当初、志手原と小野双方の地域が、近いながらも距離を感じている様子だったが、1年を通して、子どもたちのことを中心に据えて話し合う中で、周りの大人の距離はどんどん無くなっていった。
	幼小の円滑な接続をめざした交流、連携を推進(志手原・小野両校との連携)し、体験活動を工夫していく。	年間を通して、交流活動を計画実施することができた。小学校2校との話し合いには時間を要した。形を追うのではなく、小学校にとっても幼稚園にとっても実りのある交流になるよう「交流の中で育っているもの」について再度一緒に話し合っていきたい。	

5 総合的な評価結果

この1年、志手原と小野地域の両方の方々と話す機会が多く、子どもたちへの思い、地域への思いなど様々に聴かせていただくことができた。子どものことを中心に置いていろいろな意見を出し合う機会ができたことがありがたかった。

来年度に新しく開園する認定こども園の環境を整え、安心して子どもたちが過ごしていけるよう、保護者や地域の方と話し合いを重ねてきている。

今後も地域の方の温かさを感じながら過ごしていけるよう地域の方と協力して取り組んでいきたい。

6 総合的な学校関係者評価

様々な行事を通して、子ども達の頑張りを見ることができた。ここまでの経過を想像し、頑張りの裏にどんな葛藤があったのか、どんな喜怒哀楽があったのか考えた。様々な経験を通し、大きく成長してきている子ども達の姿から学ぶことは多い。

来年度は環境が変わる中、一人一人がどのように成長していくか楽しみもある。成長していく過程をこれからも見守っていくことができればと思う。また、子ども達のことを園や地域で話し合う機会をもつことができれば嬉しい。